

「H2 および H3 の肝限局性転移を有する KRAS 野生型の結腸・直腸癌における術前化学療法 SOX+Cetuximab の有効性および安全性の検討」

この試験では、大腸がんの肝臓転移がある患者さんに対して、ティーエスワン+オキサリプラチン+セツキシマブの化学療法を行った後、手術で肝臓転移の切除を行います。

大腸がんの肝臓転移がある患者さんを対象に、化学療法を行った後、肝臓転移を切除する臨床試験はこれまで海外および国内で実施されています。これまで行われた臨床試験では、化学療法として FOLFOX 療法や FOLFIRI 療法と分子標的薬剤の組み合わせが使用されてきましたが、この臨床試験では、ティーエスワン+オキサリプラチン+セツキシマブの化学療法を使用します。この治療法の効果と安全性を検討することがこの臨床試験の目的です。

この臨床試験は、患者さんを対象に実施する試験ですので、患者さんの人権と安全性の確保について最大限の配慮が必須とされます。本試験は、国が定めた「臨床試験に関する倫理指針」を遵守し、当院での臨床受託研究審査委員会(臨床研究の実施または継続について、倫理的観点及び科学的観点から調査及び審議する委員会)においてその科学性・倫理性について厳重に審査され、病院長の承認を受けて実施されます。